

平成17年11月11日

土木学会鋼構造委員会 小委員会活動報告

小委員会名 (分科会名)	鋼構造の残存耐荷性能評価と 耐久性向上方策研究小委員会	委員長 (分科会長)	野上邦栄	連絡幹事	佐々木保隆
活動予定期間	平成16年1月 ～ 平成19年1月 (3ヵ年)				
活動の目的	<p>鋼構造の耐久性向上に対する要求が高まる中、腐食に伴う構造全体および構成部材の残存耐力の適切な評価、および計画・設計から維持管理に至る鋼構造物のライフタイムを包含する鋼構造物の防食設計法の確立が重要になっている。しかし、腐食による残存耐荷性能および使用性能、さらに長寿命でかつ維持管理費用を最小にする防食法、将来の劣化予測などに関する研究は不十分であり、防食設計に関する技術規準も整備されているとは言い難い状況にある。本委員会では腐食した鋼構造(鋼橋、水門など)を対象にしてa) 残存耐荷性能評価、およびb) 耐久性向上方策の確立を主な活動目的とし、これらの活動を通して鋼構造の耐久性アップとなる防食設計のガイドライン(鋼・合成構造標準示方書/維持管理編等)に向けた基礎的資料の提示を目指す。</p>				
これまでの活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回委員会 平成16年05月10日 ・ 第2回委員会 平成16年08月23日 ・ 第3回委員会 平成16年12月22日 ・ 第4回委員会 平成17年04月12日 ・ 第5回委員会 平成17年10月19日14:00-17:30 <p style="margin-left: 40px;">話題提供①「腹板が腐食によって断面欠損した桁の曲げ耐荷性能」 トピー工業(株)技術統括部技術研究所・林 健治 委員</p> <p style="margin-left: 40px;">②「腐食した鋼鉄道橋の耐荷力評価に関する取り組み」 (財)鉄道総合技術研究所構造物技術研究部鋼・複合構造 杉本 一朗 委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各WGの活動状況 <p style="margin-left: 40px;">耐荷性能評価WG：5月18日(水)14:00～17:00 話題提供：下里委員 首都高速道路における鋼橋の維持管理状況と 腐食対策事例 等</p> <p style="margin-left: 40px;">耐久性向上方策WG：8月01日(月)13:30～17:00 話題提供：貝沼委員 沖縄の腐食損傷を有する橋梁の視察報告 等</p> <p>※委員会ホームページを下記のurlで開設した。 http://csd.kuciv.kyoto-u.ac.jp/ssd/index.html</p>				
今後の活動計画と 目標とする成果	<p>次回全体小委員会の予定：平成18年04月18日(水)14:00～17:00(土木学会) 委員からの話題提供に加えて、各WGでの活動成果の最終イメージ案について全体で再審議する予定。</p> <p>次回耐荷性能評価WG：平成18年1月24日(火)14:00～17:00(土木学会) 次回耐久性向上方策WG：平成18年1月25日(水)14:00～17:00(土木学会)</p>				
その他	特になし				